

様式第1号

令和元年7月19日

長崎県知事 中村 法道 殿

学校法人九州総合学院  
理事長 川越 宏樹

大学等における修学の支援に関する法律案第7条第1項の確認に係る申請書

大学等の名称	九州医学技術専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u> )
大学等の所在地	長崎県長崎市葉山1丁目28番32号
学長又は校長の氏名	校長 今村 文章
設置者の名称	学校法人 九州総合学院
設置者の主たる事務所の 所在地	熊本県熊本市中央区本荘町657番地
設置者の代表者の氏名	理事長 川越 宏樹
申請書を公表する予定の URL アドレス	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>

大学等における修学の支援に関する法律案（以下「修学支援法案」という。）  
第7条第1項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての口にシ点（☑）を付けて下さい。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、修学支援法案に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、大学等が自ら費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、修学支援法案第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事業推進部・一入伴子	095/856-2120	hitoshio@kyuigi.ac.jp
第2号の1	事業推進部・一入伴子	095/856-2120	hitoshio@kyuigi.ac.jp
第2号の2	事業推進部・一入伴子	095/856-2120	hitoshio@kyuigi.ac.jp
第2号の3	事業推進部・一入伴子	095/856-2120	hitoshio@kyuigi.ac.jp
第2号の4	事業推進部・一入伴子	095/856-2120	hitoshio@kyuigi.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の口にし点（）を付けた上で、これらの書類を添付してください。（設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。）

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 大学等の設置者の理事（役員）名簿【国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人のみ】

「(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置」関係

- 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿【上記(2)-①に該当する法人以外の設置者のみ】

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 学部等・学年ごとの成績の分布
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料（次ページ参照）
- 設置している学部等の一覧

(添付書類)経営要件を満たすことを示す資料

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

I 直近3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	553,153,376 円	552,397,812 円	755,564 円
申請2年度前の決算	543,587,041 円	529,280,446 円	14,306,595 円
申請3年度前の決算	531,253,737 円	521,604,276 円	9,649,461 円

II 直近の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	229,465,910 円	608,763,545 円	- 379,297,635 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	学校全体の収容定員(E)	在籍学生等数(F)	定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	150 人	129 人	86%
前年度	150 人	148 人	98%
前々年度	150 人	151 人	101%

「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目	資産の内容	申請前年度の決算における金額
現金預金		円
		円
		円

○「外部負債」(外部から返済を求められる負債)に計上した勘定科目

勘定科目	負債の内容	申請前年度の決算における金額
長期借入金		円
短期借入金		円
未払金		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
医療関係 専門課程	臨床検査科	夜・通信	2305	240	
	医療秘書科	夜・通信	910	80	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) ※臨床検査科については臨床検査技師学校養成所指定規則で定める単位数95単位					

○「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

カリキュラム一覧に 講師名を入れ実務経験有無をわかるようにしている。 ホームページにて公表 <a href="http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/zitsumu_umu.pdf">http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/zitsumu_umu.pdf</a>
---

○要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 <a href="http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/rizi_member.pdf">http://www.kyuigi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/rizi_member.pdf</a>
--

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現 県議会議員	令和元年 7月17日 ～ 令和5年 7月16日	外部理事として、組織運営体制へのチェック機能を果たすとともに、学校法人の最終的な意思決定機関である理事会において、学校運営計画の策定等に対してその知見の十分な活用を図る。
非常勤	元 県議会議長		
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>各授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画(シラバス)は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。</p> <p>「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画(シラバス)作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。</p>
<p>ホームページにて公表</p> <p><a href="http://www.kyuigi.ac.jp/students/syllabus">http://www.kyuigi.ac.jp/students/syllabus</a></p>
<p>学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>
<p>(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画(シラバス)に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。</p> <p>①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。 欠席科目については、その分の補講を受けること。</p> <p>②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。</p> <p>「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。</p>

成績評価において、GPAなどの客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「単位認定の方針について」を基準に、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準に沿って評価をするが、100点満点で点数化し以下のように区分する。

秀：100～90 優：89～75 良：74～65 可：64～60  
不可：59～ ※不可は単位として認められない。

客観的な指標として、全科目の合計点の平均点を算出して成績分布を示す。

[http://www.kyugi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/tani\\_hoshin.pdf](http://www.kyugi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/tani_hoshin.pdf)

卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校（学科）規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。

#### ～臨床検査科～

##### 卒業について

- 1) 卒業認定試験を受験する者は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の102単位を修得しておかなければならない。
- 2) 所定の102単位を修得したものを卒業とする。
- 3) 原則として卒業認定試験の第1回と第2回の平均点が120.0点以上の者を合格とする。
- 4) 卒業判定会において、卒業と卒業認定試験再試験受験者が決定する。

#### ～医療秘書科～

##### 卒業について

- 1) 所定の履修時間（単位）を終了したものを卒業とする。

[http://www.kyugi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/sotsu\\_nintei.pdf](http://www.kyugi.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/sotsu_nintei.pdf)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	九州医学技術専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○財務諸表等

財務諸表等	開示方法
貸借対照表	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>
財産目録	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>
事業報告書	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.kyuigi.ac.jp">https://www.kyuigi.ac.jp</a>

○教育活動に係る情報

①学科等の情報

〈臨床検査科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療系専門課程	臨床検査科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2915 単位時間/単位	1625 時間	時間	1290 時間	時間	時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		116人	0人	6人	40人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（授業計画の作成・公表に係る取組の概要） 個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画（シラバス）は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画（シラバス）作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
（各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。  ①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。 欠席科目については、その分の補講を受けること。

②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。 「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。
<b>卒業・進級の認定基準</b> (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校(学科)規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。
<b>卒業について</b> 1) 卒業認定試験を受験する者は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の102単位を修得しておかなければならない。 2) 所定の102単位を修得したものを卒業とする。 3) 原則として卒業認定試験の第1回と第2回の平均点が120.0点以上の者を合格とする。 4) 卒業判定会において、卒業と卒業認定試験再試験受験者が決定する。
<b>学修支援等</b> 補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談を行い、学校全体で取り組むようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	※30人 (88.2%)	4人 (11.8%)
(主な就職、業界等) 県内外の医療機関(病院 検査センター等)			
(就職指導内容) 自己分析→自己PR→履歴書作成 面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を得られる。			
(備考)※臨床検査技師国家試験に合格した者のみが、臨床検査技師として就職できるため。 国家試験合格者の就職者数は100%			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
131人	13人	9.9%

<p>(中途退学の主な理由) 進路変更 学力不足 家庭の事情(学費など)</p>
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 補習、補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談</p>

〈医療秘書科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療系専門課程	医療秘書科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	910 単位時間/単位	670 時間	時間	240 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（授業計画の作成・公表に係る取組の概要）</p> <p>個々の授業科目の内容の概要や計画を示す授業計画（シラバス）は、学生の学習を支援するためのアウトラインであり、その役割は学習の案内と学習への動機づけとなる。「学生が何を身に付けるか」という視点でガイドラインに沿って授業計画（シラバス）作成を前年度中に、担当講師に依頼し、新年度当初にホームページにて公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）</p> <p>九州医学技術専門学校「単位認定の方針について」をもとに、授業計画（シラバス）に記載された成績評価の方法・基準のとおり、単位の評価を行っており、評価基準としては以下のとおりとなる。</p> <p>①その科目の年間出席時間数が出席すべき時間数の3分の2以上であること。 欠席科目については、その分の補講を受けること。</p> <p>②科目習得の認定は100点法で、60点以上でなければならない。</p> <p>「単位認定の方針について」諸規則集を学生に配布し、周知徹底を図っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校（学科）規程に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <p><b>卒業について</b></p> <p>1) 所定の履修時間（単位）を終了したものを卒業とする。</p>
学修支援等
補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談を行い、学校全体で取り組むようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 （100%）	0人 （0%）	17人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 県内外の病院、クリニック、調剤薬局など			
（就職指導内容） 自己分析→自己PR→履歴書作成 面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療秘書技能検定 メディカルクラーク 調剤事務管理士技能認定試験			
（備考）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 補習、補講、個別指導、保護者との連携、スクールカウンセラーとの相談		

## ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費	維持費	合計
臨床検査科	250,000 円	700,000 円	200,000 円	100,000 円	1,250,000 円
医療秘書科	100,000 円	400,000 円	200,000 円	150,000 円	850,000 円
	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円
修学支援（任意記載事項）					

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 ホームページにて公表 <a href="http://www.kyuigi.ac.jp">http://www.kyuigi.ac.jp</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己点検・評価を職員が一体となって取組み、自ら学校運営、教育活動を改善していくとともに、特に学校と関連の深い企業等の関係者、卒業生などからなる「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図っていくこととする。また、これらの意見を反映し、学校側の意向に沿ったものに偏らないよう、真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、保護者の意向にも十分配慮した教育内容及び学校運営を目を向うことを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
西九州大学 健康福祉部	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
長崎大学病院 検査部	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	卒業生
日本赤十字社長崎原爆病院 医療技術部検査課	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	卒業生
元 地域医療技能推進機構 諫早総合病院 検査部	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	卒業生
長崎ウエスレヤン大学	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
長崎みなとメディカルセンター	平成31年4月～令和3年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 ホームページにて提供 <a href="http://www.kyuigi.ac.jp">http://www.kyuigi.ac.jp</a>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		



c) 当該学校に係る情報

公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法

<http://www.kyuiqi.ac.jp>